

はじめに

アルザス欧州日本学研究所（CEEJA）と国際交流基金は、2009年、2010年と2回にわたり、御厨貴氏（放送大学教授・東京大学名誉教授）を講師に迎え、CEEJAを会場として日本研究セミナー「明治」を開催いたしました。本書は、同セミナー参加者の発表論文を編集したものです。

限定された専門分野における研究者同士のネットワークは、学会などを通じて存在し、機能しているかと存じますが、研究分野の異なる専門家間の本格的な研究交流はまだ十分とはいえない状況と思われます。そこで、この日本研究セミナーでは、「学問分野」ではなく、特定の「時代」を取り上げ、その広域テーマのもとヨーロッパにおける若手・中堅日本研究者のネットワーク形成を図り、各自の研究に広がりや深まり、そして日本研究の内容の充実に資することを目的に実施しております。

2007年、2008年は「江戸」をテーマに（講師：田中優子氏：法政大学学長）に実施し、2011年、2012年には「大正・戦前」を、2013年には「戦後」をテーマに（ともに講師：井上寿一氏：学習院大学学長）実施しました。すべてのセミナーにおいて、参加者は相互の日本語による発表を聞き、質問と議論を交わすことで、その時代の日本の特質や、現代日本に息づく影響などについて問題提起を図りました。

本企画実施にあたり、お忙しい中、日本からアルザスでの2回の企画に参加いただき、セミナーの講師をお引き受け下さいました東京大学の御厨貴先生に篤く御礼申し上げます。

本論文集が、広く明治研究を志す研究者の参考となれば幸いです。

国際交流基金